



広報

あい

こうか

10/1

No.175

CONTENTS

特集：都市農村交流事業 …………… 2
障がい者を虐待から守りましょう …………… 4
甲南中サッカー部全国3位に …………… 6
キラリ輝く地域の輪・宮町自治振興会 … 10
であいこうか
弓道全国1位 にしわきまさと 西脇真人さん …………… 13

「忍者の里」と都市住民の架け橋に

— 甲賀市都市農村交流事業 —

近年、都市住民がゆとりや自然とのふれあいを求め、地方の農山村が自分たちの生活の中で農作業体験や田舎暮らし体験を提供する「グリーンツーリズム」が盛んになってきています。

市では、地域を活性化させるため「グリーンツーリズム」を含む都市農村交流事業を積極的に推進し、関係団体との協力のもと、「甲賀市都市農村交流推進協議会」を設立し、平成25年度から本格的な受け入れを始めていきます。

農家民泊を実施しました

都市農村交流事業は、都市に住む人々が農山村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむとともに、魅力ある農村づくりや農業に従事する動機を養う機会として、甲賀市都市農村交流推進協議会が中心となって受け入れを進めています。

今年度は、今後の本格的な事業展開に向けての小規模な受け入れが実施されました。今回の受け入れでは、39軒の家庭などにご協力をいただき、神戸市、神奈川県、インドからの参加者を迎え入れることができました。

受け入れに携わった方々から多くの感想をいただきましたので、その一部を紹介します。



▶タマネギってこんな風にできるんだ



▶インドからのお客さん、純和風のお部屋でベッドメイキング



▶地元の子ともすっかり仲良し



▶たくさん収穫できました



▶さやえんどうのおそづじ

私たちの普通の暮らしが この子たちには 貴重な体験でした



土山町 谷川幸子さん

私はあまりいろいろなことをしてもらおうというよりも、自然体で受け入れていく方針で臨みました。夏野菜の植え付けや、畑おこしなど、私たちの日常を手伝っていただいたのですが、思ったよりもしんどかったようで私がお菓子の差し入れを持っていくと、本当に嬉しそうにしていた姿が目につかびます。受け入れるまでは、あれこれ考えて大変だったのですが、終わってしまつて何でもなかったなという印象です。普段は、夫と2人で暮らしているため、若い子がこつこつという形で来てくれるのはちょっとした楽しみです。

農家民泊参加者の声

最後の日の昼食では、自分たちで収穫したじゃがいもや玉ねぎが入っていたので嬉しかったです。今まで食べた肉じゃがの中で一番おいしかったような気がしました。

甲賀市という自然の中でいろんな体験をできたことが楽しかったし、絶対に忘れません。

神戸市立中学校2年生



▶そば打ちに初挑戦うまくできるかな



▶別れに思わず涙



▶また来るんやでえ

若い子たちに 農業の良さを 僕たちのやる気も高まりました



水口町 受入法人従業員 木下昭典さん

僕の場合は、僕の勤める法人が受け入れを実施し、そこでの生活を一緒に過ごすことになりました。都市部の農業から離れた暮らしをしている子どもたちに、自分たちの食を支える農業の現場を実際に知ってもらえたという喜びがあります。ちょうど、五ねぎの収穫時期だったので、「玉ねぎってこんな風にできるんや」と驚いている姿をみて、僕たちも新鮮な気持ちになりました。僕たちは、年間に何度もいろいろな研修生を受け入れていますが、農業のことをまったく知らない子どもたちを受け入れる機会はありません。今回の経験を通して、農業を知らない若い子たちと一緒に農作業でき、その良さや重要性を実際に知ってもらえたことが、僕たちの気持ちを高めてくれました。この子どもたちが、成長して甲賀市に農業しに帰ってきてくれたら本当に嬉しいですね。

私たちがとっても貴重な経験を させてもらったと 思っています



信楽町 里見一男さん夫妻

私たちは農家ではないのですが、菜園が広いのでその世話を手伝ってもらいました。最も印象深かったのが、杭を作る作業ですね。子どもたちは、初めてのノコギリなど、道具の扱いには苦労していたようですが、大変な作業にも関わらず「めっちゃ楽しかった」と新鮮な感動を抱いてもらったようです。2、3日のほんの短い期間ですが、どの子ども打ち解けることができ、孫は文通、息子はフエイブックを使って交流を続けているようです。また、日ごろは静かな子どもがここでは活発な姿を見せ、引率の先生がびっくりされることもありました。受け入れしている私たちにとっても、貴重な経験をさせてもらったと思っています。

これからの計画

来年度からの本格的な受け入れは、修学旅行などの教育旅行を中心に据え、既に来年度分の予約を正式に5つの中学校から約1,000人分いただいでいて、約100軒の家庭などに受け入れていただく予定となっています。今後はさらに規模が拡大される見通しです。

受け入れ家庭を募集します

市、協議会は受け入れの規模を拡充していくため、事業にご協力いただける家庭を募集しています。その際の要件は左記の通りです。

- ・やる気のあるご家庭であること
- ・1階に3〜5名が泊まれる部屋があること
- ・受入事前研修(平成25年3月2日(土)、3月7日(木)を含む年数回開催予定)に年1回以上参加できること

※受入家庭登録は1年毎の更新となります

その他、不明な点がございましたら、記事左下のお問合せ先までお気軽にお尋ねください。皆様のご協力をお待ちしています。

問い合わせ

農業振興課
甲賀市都市農村交流推進協議会
☎05-0711-0630 0592
✉kokai10355000@city.koka.lg.jp

障がい者を虐待から守りましょう

障がいのある人たちへの虐待

近年では国籍の違い、性別や年齢の差異、障がいの有無を問わずに誰もが利用することができる「ユニバーサルデザイン」への機運が高まる一方で、障がい者に対する虐待事例の報告や事件が後を絶ちません。

1995年、茨城県内の企業において、従業員として雇用されていた知的障がい者の方々に対する暴行・性的な虐待事件が明るみとなり、新聞などで大きく報道されました。

また、滋賀県でも、知的障がい者の方々を多数雇用していた企業が、長年にわたり、わずかな賃金しか支払わず、障害年金を横領したり、日常的に殴る蹴るの暴行を行っていたことが発覚し、社会的な問題となりました。

障がい者虐待の例

身体的虐待	障がい者の体に傷や暴行を加える。
性的虐待	わいせつな行為をする、させる。
心理的虐待	障がい者をぶじょくしたり、拒絶的な言葉や態度をとる。
放任・放棄	食事などの世話や介助をほとんどせず、障がいのある人の心身を衰弱させる。
経済的虐待	本人の同意なしに、財産や年金、賃金を使う。

障がい者への虐待の多くは、家庭内や障がい者施設の内部で起こり、他人の目に触れにくいことから、認知や発見が難しいとされています。

また、障がい者への虐待はあつてはならないことです。

が、「絶対にしてはいけないこと」「起こるはずのないこと」という思い込みや無関心が、結果的に障がい者虐待の発覚の遅れにつながっている側面があります。

障害者虐待防止法が施行されます

こういった、障がい者の生活の場全般における虐待を早期発見し、適切かつ迅速な対応ができる体制を作るため、10月1日から「障害者虐待防止法」が施行されます。

この法律は、身体障がい、精神障がい、知的障がい、発達障がいのある人で、日常生活や社会生活に援助が必要である人を対象としています。

障がい者虐待防止のために

虐待を防ぐためには、早期の発見・対応が必要となります。障がい者虐待の通報、届出をされた方の個人情報を守られます。虐待に気づかれた方は、すみやかに自立支援課まで通報をお願いします。

虐待を防ぐためには、市民の皆さまの理解と協力が重要です。みんなと一緒に暮らしたいというのは誰しもの願いです。差別や虐待など悲しい出来事があれば、その願いはかきません。私たちの甲賀市に生活する一人ひとりがお互いを認め合い支えあつて、素晴らしいまちになります。皆さまのご協力をお願いします。

障がい者の虐待に関する相談・通報・問い合わせ

自立支援課

相談支援係

☎0748・65・0707
☎0748・63・40085

防災についてのみなさんのご意見をお聞かせください

～パブリックコメント実施～

- 甲賀市地域防災計画（風水害編）修正案
- 甲賀市地域防災計画（原子力災害対策編）策定案

「甲賀市地域防災計画」について、東日本大震災の教訓等を反映した見直しを行うとともに、「原子力災害対策編」を新しく策定するための計画案を取りまとめましたので、市民の皆さんからのご意見を募集します。

○募集期間

平成24年10月1日（月）
～平成24年10月31日（水）

○閲覧場所

市ホームページ、危機管理課、地域市民センター（旧支所）の各窓口

○意見の提出方法

住所・氏名を明記のうえ、直接提出いただくか、郵送、FAX、Eメール等で提出してください。

○意見を提出できる方

当該計画に関し、意見等を提出する意志を有する個人及び法人その他の団体

問い合わせ

危機管理課 防災危機管理係
（甲賀市防災会議事務局）
☎05・06665 ☎63・4619
✉koka10023000@city.koka.lg.jp

甲賀市長選挙

投票日 10月14日（日） 7時から20時まで

任期満了に伴う甲賀市長選挙は、10月7日（日）に告示、14日（日）が投票日です。

投票は市内95カ所の投票所で行います。安易に棄権せずに投票に出かけましょう。

◎当日投票に行けない方は 期日前投票を

左記のとおり期日前投票を行いますので、投票当日、仕事や旅行などで投票に行けない方は、ご利用ください。市内5カ所などの期日前投票所でも投票することができます。

● 期間／10月8日（月）祝 ～13日（土）

● 時間／8時30分～20時

● 場所／

○ 甲賀市役所 水口庁舎 3階第2・3会議室 ☎65・06667

○ 甲賀市役所 土山地域市民センター 1階玄関横スペース ☎66・11101

○ 甲賀市役所 甲賀大原地域市民センター 1階第2・3相談室 ☎88・4102

○ 甲賀市役所 甲南庁舎 1階ミーティングスペース ☎86・80010

○ 甲賀市役所 信楽地域市民センター 1階事務室 ☎82・1121

● 持参物／お手元に届いていれば、入場券をご持参ください。

◎音声による「選挙のお知らせ」を 無料配布します

選挙公報の概要をカセットテープに録音した「選挙のお知らせ」音声テープを無料で配布します。配布は10月11日（木）の予定です。

ご希望の方は、10月5日（金）までに電話または郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記の上、FAXで市選挙管理委員会事務局へご連絡ください。

問い合わせ

甲賀市選挙管理委員会

☎65・0667
☎63・4561

あたたかい愛情を 必要としている 子どもたちもいます

10月は「里親月間」です

「里親」とは、児童福祉法に基づき、親の病気や離婚などさまざまな理由により家庭で生活することが難しい子どもを一時的、継続的に預かり、あたたかい愛情と家庭的な雰囲気の中で育てていただける方のことです。

家庭の温もりを求めている子どもたちが里親との出会いを待ち望んでいます。

里親には、養育里親、専門里親、親族里親、養子縁組を希望する里親の四種類があります。このほかに児童福祉施設入所中の子どもを週末などに一時的に預かっていただく場合もあります。

里親になるには、心身ともに健全で、児童の養育についての理解や熱意、児童に対する豊かな愛情をお持ちの方であれば、特別な資格はいりませんが、研修を受講いただき、県知事により里親として認定される必要があります。

里親制度に関心がある方は、中央子ども家庭相談センターまたは社会福祉課までお問い合わせください。

また、滋賀県里親大会が、今年は甲賀市にて開催されます。里親による体験発

表、アトラクションのほか、かみかみ栢木寛照氏による講演も予定されています。里親制度に関心のある方はぜひご参加ください。

■第55回滋賀県里親大会

日時 10月20日（土）

13時～16時10分

会場 忍の里プラザ

（甲南情報交流センター）

内容 式典・里親体験発表

アトラクション

講演・親が育てば 子も育つ

講師 比叡山三宝蓮

慈光院住職 栢木 寛照氏

問い合わせ

中央子ども家庭相談センター

☎077・562・1121

☎077・565・7235

社会福祉課 家庭児童相談室

☎65・0660 ☎63・40085

※里親大会については、

滋賀県里親連合会事務局

☎077・522・6881



まなびの体験広場2012

ーひとみの輝く甲賀っこまつりー

開催日時 10月27日(土)

午前の部：10時30分から
午後の部：13時から

会場 甲南情報交流センター

(忍びの里プラザ)

体験対象者 市内の小学生

講師 市内の高校・専門学校生

シルバー人材センター会員

体験コーナー

- ・オリジナルフレーム作り
- ・昔遊び
- ・妊婦、老人体験・赤ちゃん抱っこ体験
- ・プラネタリウム体験 など



学んでいる学生たちには「発表の場」として、またその場で体験する子どもたちには「学ぶ場」として、異世代間の交流の中から人のつながりを広げていく機会となるよう企画しました。同時開催のエコフェスタと併せて、皆様のご来場をお待ちしています。

問い合わせ

社会教育課 生涯学習係
☎86・8021 ☎86・8380

同時開催

甲賀市エコフェスタ

地球温暖化問題について家庭で取り組めることを、展示や工作教室をとおして広く市民の方に学んでいただける催しです。

開催時間 10時から15時30分

《内容紹介》

- 展示コーナー
 - ・太陽光・照明システム
 - ・環境と電気の体験コーナー
 - ・自転車と交通安全
- 古着の回収・リサイクルコーナー
- 地元の農産物や特産物の販売
- フリーマーケット
- 省エネ診断
 - ・省エネ診断ソフトによる診断(持ち物：滋賀県温暖化対策課HPIに掲載の事前調査票)
 - ・省エネ体験装置

※内容は変更になる場合があります。

問い合わせ

生活環境課 環境政策係
☎65-0691 ☎63-4582

屋外広告物クリーンキャンペーンを実施しました

国土交通省が9月1日から10日を「屋外広告物適正化週間」として設定したことを受け、県内で一斉に「屋外広告物クリーンキャンペーン」が実施されました。

◎屋外広告物

フリーンキャンペーンの内容

- ①屋外広告物法および条例の普及啓発
- ②違反広告物の簡易除却
- ③違反広告物の是正取組

甲賀市においても9月5日、違法な屋外広告物の簡易除却作業と、道路の不法占用物件に対する指導を行いました。

主に、電柱や柵、道路標識などに立てかけられた立看板やはり札などを撤去しました。撤去した広告物は、期間を定めて市役所で保管しています。

◎今回撤去した広告物

はり札	23枚
立看板	13個
合計	36
指導件数	9

公共的物件や交通安全施設、電柱などには、たとえ短い期間であっても、原則立看板やはり札、はり札などの広告物を表示することはできません。

また、屋外広告物を設置する場合は、申請が必要です。

※屋外広告物とは・・・

一定の期間、継続して屋外で公衆に表示されるもの

一人ひとりルールを守り、きれいで安全なまちにしましょう。

問い合わせ

都市計画課 景観係
☎65・0786
☎63・4601

甲南中学校サッカー部

強豪破り全国3位

甲南中学校サッカー部は、8月7日に行われた近畿大会で全国大会への切符を勝ち取り、8月17日から24日までの間開催された全国中学校体育大会でベスト4(全国3位)入りを果たしました。



メダルを胸にしたサッカー部のメンバー達



練習に励む選手たち

地方大会を乗り越えてきた強豪校がひしめく全国大会で、初戦の北陵(中)岩手県)をPK戦で下した甲南中はそのまま勢いに乗り、準々決勝で優勝候補の一角、宮崎代表の日章学園中を先制されながらも粘り強く攻勢をかけ、逆転で破りました。準決勝で対峙した静岡代表の東海大翔陽中は、優勝候補に挙げられる強豪でしたが、「チームに勢いがありました」とメンバーが振り返るように、2度に渡りリードを奪いました。1点リードで迎えた後半ロスタイムに同点に追いつかれ、延長戦の末相手校にゴールを許してしまいました。悔しい結果にも、顧問の齋藤監督は「大会屈指の好ゲームだった」と、選手の活躍を称え、スタンドから熱い声援を送り続けた学校の仲間や保護者からも、選手の健闘に惜しみない拍手がいつまでも止みませんでした。

選手たちは、全国制覇に届かなかった悔しさとともに大きな達成感を抱いて凱旋し、主将の門矢君は「最高の仲間、最高の指導者、最高の保護者とともに勝ち取った全国3位」と胸を張って報告しました。

障害児福祉手当・特別障害者手当制度

市では常時介護が必要な在宅の重度障害者の方に、その障害のために生じる負担を削減し、福祉の増進を図るため、次の手当を支給しています。

いずれの手当も診断書などによる認定が必要で、所得制限があります。詳しくはお問い合わせください。

障害児福祉手当

●対象
20歳未満の在宅の重度心身障害児で、身体障害者手帳1級(2級の一部を含む)程度の身体障害、または、障害の状態が上記と同じ程度以上の精神(知的)障害がある

特別障害者手当

●対象
20歳以上の在宅の重度心身障害者で、障害基礎年金の1級程度の障害が複数あり、日常生活において常時特別の介護を必要とする状態にある人。

支給額／14,280円(月額)
支給額／26,260円(月額)

人権擁護委員の委嘱発令がありました

●再任された人権擁護委員

- 竹崎 文雄さん (水口町泉)
- 富山 朝司さん (甲賀町油日)
- 木村 功さん (甲南町野田)

問い合わせ

人権推進課 人権政策係
☎65・0694
☎63・4582

10月1日は「浄化槽の日」

「浄化槽の日」は、浄化槽に関する法律の「浄化槽法」が、昭和60年10月1日に施行されたことを記念して、昭和62年に定められました。

浄化槽は、微生物の働きを利用して汚水を処理する施設なので、微生物が活発に活動できるような環境を保つ必要があります。そのため、浄化槽法により次のことが義務付けられています。

- ◆**保守点検**
機器類の点検・調整や消毒剤の補給等を行い、異常や故障などを早期に発見し、予防的な措置を講じること。

- ◆**清掃**
浄化槽内にたまった汚泥などを抜き取り、付属装置や機器類の洗浄や清掃を行うこと。

- ◆**法定検査**
公共用水域の汚染等を引き起こさないよう、浄化機能が十分に発揮されているかどうか確認するためのもので、毎年一回水質に関する検査を受けなければなりません。

これらの保守点検・清掃・法定検査は浄化槽管理者(浄化槽を設置し、使用いただいている方)が費用を負担します。なお、下水道への接続等で浄化槽を廃止したときは、30日以内に届出が必要です。届出は下水道課にお願いします。

問い合わせ先
下水道課 計画普及係
☎86・8012 ☎86・8390

「赤ちゃんがきた!」参加者募集

「赤ちゃんがきた!」は、初めての赤ちゃんを出産されたお母さんを対象に、少人数のグループで子育てについての基本的な知識を学びあったり、赤ちゃんとの絆を深めたり、子育て仲間がつながれるような内容です。参加を希望される方は、各子育て支援センターまで電話か直接ご来所ください。

- 日時/11月1日(木)、8日(木)、15日(木)、22日(木)
13時30分~15時30分まで(全4回)
- 場所/甲南青少年研修センター
(甲南子育て支援センター隣)
- 対象/市内在住で、平成24年4月~平成24年8月生まれの乳児とお母さん(第1子に限る)

- 定員/10組
 - 参加費/840円(テキスト代)
 - 持ち物/赤ちゃんのオムツ・タオル・ミルク(必要な方など)
 - その他/託児はありません。赤ちゃんと一緒に参加していただけます。
- ※申し込み多数の場合は抽選とさせていただきます。
- 締切/10月17日(水)

問い合わせ・申し込み
各子育て支援センター
水口 ☎65・5511 甲南 ☎86・0949
土山 ☎66・0375 信楽 ☎82・2799
甲賀 ☎88・8115

市史の小徑

「甲賀五十三家」は 実在したか?

甲賀の歴史、特にその中世について考えるとき、「甲賀五十三家」や「二十一一家」ということが常に語られてきました。五十三家とは旧甲賀郡域の各地に成長した土豪で、室町時代の長享元(二四八七)年に起こった將軍足利義尚による六角征伐において、六角方として鉤の陣に夜襲をかけた家々として、このうち特に大きな戦功をあげた家を二十一一家といい、これらの諸家の存在を前提に地域史を考えると、このころが、江戸時代以来とくに「甲賀武士」の顕彰に努めた大正十五年刊行の『甲賀郡志』以降、郷土研究の定石となってきました。

今回の市史中世編では、これまでの定石にとらわれず、まずは同時代の史料から甲賀の武士の動向を見ることができました。すると、たしかに二十一一家に該当する諸家はその動きや子孫の系譜などが追えるのに対して、これを除く家々については、史料の不足もあって具体的な動向がほとんどわかりませんでした。そもそも五十三家や二十一一家という

考え方は、江戸時代にその末裔(甲賀古士)たちが書き記した由緒書に現れるもので、その全てを史実としてよいかどうかは検討が必要とされます。果たして彼らは「実在」したのでしょうか。

歴史作家の司馬遼太郎さんは早くから彼ら土豪・地侍があるいはその末裔たちが地域の歴史さらには日本の歴史に果たした役割を高く評価されていますが、甲賀ではそれが五十三家や二十一一家となり、その活躍を通して歴史を描いてきました。甲賀を象徴する土豪たちについて、次回も考えてみたいと思います。

- 【市史販売場所】
- 〈水口町〉ブックショップヤマカワ・山田書店・TSUTAYAさんぽうご・水口歴史民俗資料館
 - 〈土山町〉ウエノ・道の駅あいの土山・新名神土山サービスエリア案内所・土山歴史民俗資料館
 - 〈甲賀町〉かふか生涯学習館
 - 〈甲南町〉ウイング甲南店・市史編さん室
 - 〈信楽町〉大宝堂谷川書店・信楽伝統産業会館・信楽中央公民館
- ※予約申込の方は指定の施設でお引き換えください。

問い合わせ
歴史文化財課 市史編さん室
☎86・8075 ☎86・8216

*詳しくは「甲賀市ホームページ」→トップの「甲賀市史」のバナーからもご覧いただけます

RED LIST [第7回]

レッドデータブックに掲載される絶滅のおそれがある野生生物の一覧をレッドリストと言います。私たちの身近な環境と甲賀市のレッドリストに載る生き物の関係について紹介します。

田んぼの赤とんぼ

稲刈り後の田んぼに、たくさんの赤とんぼ(アキアカネやナツアカネといったアカネ属のトンボ)が飛び風景は、水田の多い日本では、日常のように思われます。

しかし、「水田に立てば、周囲に数千~数万の赤とんぼが目撃できた」という約50年前の北陸の穀倉地帯の記録や、近年の全国の調査結果からは、田んぼの赤とんぼが減ったという報告が相次ぎます。

滋賀県内や甲賀市でも、赤とんぼが秋の田んぼに群れる風景は限られる傾向です。例えば、マイコアカネという赤とんぼは、約5年前から激減し、レッドリストに掲載される可能性があります。

赤とんぼ減少の理由は、農業説、圃場整備説などありますが、明らかではなく、大学や国、各自治体の研究機関が調査中です。

ただ、市内の一部地域では、現在も驚くほどの

赤とんぼが羽化する田んぼがいくつか確認できます。おそらく、現在の一般的な田んぼの環境が、赤とんぼが住み難い環境になったのでしょう。

さて、夏休み頃に、田んぼの上に群れるオレンジ色のトンボがいますが、これはウスバキトンボです。毎春、東南アジアから渡ってきて、夏の田んぼで生活し、晩秋には死に絶える熱帯のトンボです。

自然館では、この秋、市内の赤とんぼを調査中です。関心のある方はご連絡ください。



▲アキアカネ



▲ナツアカネ

問い合わせ みなくち子どもの森自然館 ☎63-6712 ☎63-0466

5名がねんりんピックへ

(第25回全国健康福祉祭宮城・仙台大会)

第25回「全国健康福祉祭」(愛称:ねんりんピック)が宮城県内の13市町を会場に10月13日から16日の4日間開催されます。

60歳以上の方々を中心に、卓球、囲碁、俳句などの交流大会や、美術展、音楽文化祭が行われ、地域や世代を超えて参加者の交流の輪を広げていきます。

この大会に甲賀市から5名が参加されます。参加される方々のご活躍を期待しています。

- 参加者
- スポーツ部門
 - 《ダンススポーツ》
 - 加来 保さん(甲南町)
 - 加来 和子さん(甲南町)
 - 《サッカー》
 - 井用 敏昭さん(甲賀町)
 - 《グラウンド・ゴルフ》
 - 平岡 正巳さん(土山町)
 - 美術部門
 - 《日本画・水墨画》
 - 森田 多み子さん(甲南町)



楽しかった手作りのあそび

鮎河地域市民センター

このほど、鮎河地域市民センター（鮎河公民館）で青少年育成団体「あいの土」の子きらねっ人主催の「あそびの広場」が開催されました。子どもたちの夏休みの思い出づくりにと企画され、昔懐かしい紙芝居やカラムに輪投げ、締めくくりはおもちゃづくりと盛りだくさんの楽しい催し物となりました。特に、伸びたり縮んだりする不思議な物体「スライム」を作るのには一際楽しかったようで、会場は子どもたちの歓声と笑顔で満ちあふれていました。猛暑の夏でしたが、きっと楽しい思い出の「コマ」になったことでしょう。



防災かまどベンチを設置

柏木地域市民センター

防災への備えが声高に叫ばれる今日、柏木学区では、かしわざ自治振興会とNPO法人レインパークとの協働事業として、防災かまどベンチ（2基）の製作に取り組みられています。この事業は、滋賀県減災協働コミュニティ滋賀モデル推進事業の採択を受け、万が一の災害時に避難場所となる柏木小学校に隣接する柏木ふれあい運動公園内に設置するものです。8月には柏木学区の区長会をはじめ、多くの関係団体による事業の打ち合わせを行い、9月に基礎工事および本体設置工事を実施されました。また、10月に開催予定の柏木地区体育祭や年明けの3月に実施する防災訓練では、このかまどベンチを使用した訓練を計画されています。安心安全のまちづくりを推進するにあたり、地域の防災・減災の取り組みを、今後も継続して実施されます。



にぎやか焼きものづくり

信楽地域市民センター

8月5日レイカディアア大学主催（信楽学区自治振興会・長野分会協賛）で「夏休み子ども焼きもの体験」が開催されました。長野地区や市外からの小学生が39名参加し、午前中は信楽焼の歴史学習や寸劇の鑑賞をし、お昼には流しそうめんを食べながら交流を深めました。午後は子どもたちお待ちかねの陶芸体験。好きなアニメキャラクターを作るとあって、自作のイラストや写真を見ながら真剣な顔付きで粘土をこねていました。子どもたちにとって夏休みの楽しい思い出になったことでしょう。



夏の子ども体験講座・万華鏡づくり

甲南第三地域市民センター

8月22日、甲南公民館柑子公民分館において「夏の子ども体験講座・万華鏡づくり」が市内の小学生21名参加のもと、にぎやかに開催されました。この日は、県立甲南高校の森田先生のご指導により「ビー玉を使った万華鏡」と「液状のりを使った万華鏡」の2種類に挑戦。甲南高校の生徒さんお二人も先生の助手として、子どもたちに優しく丁寧にアドバイスをしてくださいました。針金やキリを使つての作業は、少し難しく大変な工程もありましたが、出来上がった万華鏡を覗いた子どもたちからは笑顔がこぼれ、楽しい夏休みの思い出となりました。

自治振興会の活動内容を紹介しています

みや 宮地区自治振興会

心が通じ合い元気で明るいまちづくり

まちづくりの基本目標（テーマ）

- ◆人と人、こころがよあいあい「地域の宝」を大切にしまちづくり
- ◆人と人、こころのふれ合い、健康で陽気に生き続けるまちづくり
- ◆人と人、こころがなごむ、地域が元気を育むまちづくり
- ◆人と人、こころがはずむ、地域資源を生かしたまちづくり
- ◆人と人、こころのきずな、笑顔あふれるまちづくり
- ◆人と人、こころをむすぶ、夢ふくらむまちづくり

宮地区自治振興会は、まちづくりの基本目標に沿って、5つの部会と事務局が力を合わせ事業展開しています。また、地域の人々にとって深刻な地域課題に迅速に対応できる組織づくりを心がけています。

私たちは宮地区の人々の笑顔を活力の源として、未来につながる事業や活動をしていきたいと考えています。

地域で育ててきた事業の継承

○子ども会研修旅行

こどもの日に、子どもたちの学習や社会経験のため研修旅行を毎年開催しています。子どもたちはこの日を楽しみにしています。自治振興会では、行き先でのトラブルを想定して事前に下見を行い、子どもたちが楽しい一日を過ごせるよう努めています。

○宮地区秋期運動会

甲南第三小学校との合同開催で、5集落対抗の運動会です。ケガしないようにとお願いながらも、ついつい力が入ります。グラウンドの中には、小学生も大人も笑顔がはじけます。

○忍にん寄席

地域の草の根ハウスでの落語会。上方落語三昧の楽しい時間、小さな会場に大きな笑い声が渦巻きます。

○わくわくフェア

地域市民センターを活用し、地域の人が集う12月、JAさんとの共同開催の事業です。しめ縄、野菜、手作りクッキーや焼きそば、忍者鍋、イカ焼きなど、地域の特産物や、夏祭りで鍛えた自慢の料理に舌鼓。ガラポンでは地域のお店にも協力してもらい豪華景品がずらりと並びます。



▲わくわくフェア会場の様子

新しく取り組む事業

◆命のバトン推進事業

甲賀市社会福祉協議会が進める命のバトン事業に賛同し、地域課題の高齢化や独居老人が安心して住める宮地区になるよう事業化しました。民生委員さんや、老人クラブ、日赤奉仕団の皆様と連携しながら命のバトンの普及に力を入れています。

◆小学校の環境整備ボランティア

小学校の児童数が減り、緑に包まれた甲南第三小学校は、保護者や職員だけでは学校全体の草刈などの環境整備が困難になってきました。草刈のボランティアを自治振興会の広報などで呼びかけたところ、30人弱の人々が駆けつけて下さり、あつという間に綺麗になりました。



▲呼び掛けに賛同いただいた地域の皆さんによる草刈り

◆獣害対策

5つの集落全てが獣害で悩んでいます。愛情もって育てた農作物が、サルに取られたと、なげく農家の皆さんの声が大きくなり、自治振興会では農林部会が立ち上がりました。講習会を開催し、サルの火花を活用した「サル追い払い隊」を各字に組織しました。より有効な活動ができるよう部会で話し合いを重ねています。

未来へつなぐ事業

◎「滋賀の宮村」復刻出版

明治の終わり頃、私たちの地域は模範村として国から表彰されました。この何の特色もない小さな村が全国から「滋賀の宮村」として脚光を浴びた、そんな誇らしい時代に思いを馳せ、先輩たちから聞かされた誇り高き時代の宮地域を伝える本「滋賀の宮村」を復刻する計画を進めています。

◎誕生御祝い事業

子どもは地域の宝です。少子高齢化の著しいこの地域ではよりその思いを強く感じます。赤ちゃんの誕生を地域全体で祝おうと、自治振興会発足時まで遡り、足形と誕生日などを刻んだガラス製の置物をプレゼントします。また小学校の入学卒業時にもささやかな御祝いの品をさし上げています。誕生、入学、卒業と、地域で育てた子どもたちが将来宮で生まれて良かったなあと思える「まちづくり」こそが、私たち宮地区自治振興会のめざすところです。

問い合わせ

甲南第三地域市民センター
TEL 086・85118 FAX 086・85119



▲サル対策の強力火花取り扱い研修会



水口高校 3年生 弓道部
にしわき まさと
西脇 真人さん
全国高等学校総合体育大会(インターハイ)
弓道個人の部 1位

勝因は平常心

インターハイに弓道個人の部で出場した西脇さんは、全国の強豪選手たちを抑え、日本一の栄光に輝きました。次の目標である国体、そして受験に向け文武ともに鍛錬を重ねる西脇さんを、水口高校弓道場に訪ねました。

○弓道を始められたのはいつですか？またきっかけについても教えてください。

高校に入ってからをはじめました。先輩たちが着物と袴に弓を持って歩く姿が格好よく、その姿に憧れて弓道部に入部しました。

○弓道を始めてみての感想は？

最初は想像していたより難しく、的に当たらなかったのですが、徐々に当たるようになってくるにつれ、とても楽しくなってきました。しかし、1年の冬から2年にかけては伸び悩み、命中率が8%程度まで落ち込むというつらい時期も経験しました。それでも、自分に負けたくないという一心で、諦めずに少しずつ前に進んできました。

○インターハイ出場を目標にがんばってこられたのですか？

弓道は常に自分との戦いです。その勝負に負けさえしなければ必ず結果が出て、県大会での優勝は狙えると信じてやってきました。実は県大会の後にインターハイがあると知らなくて県大会での優勝で満足していたのが正直なところです。

○インターハイの勝因は？

周りの出場選手は、とても強そうでしたが、自分と同じように緊張しているようでした。だから、今回も自分に負けずに普段通りにできれば、必ず結果が出ることを信じて落ち着いて臨みました。最後に残った自分以外の2人が的に当たらず、自分の矢だけが当たった瞬間はほとんど実感が湧きませんでした。場外にでた途端マスコミに囲まれ、仲間に祝福されると共に大きな充実感に包まれました。インターハイということで気負いせず、平常心を保てたことが勝因だったのではないかと思います。

間もなく国体が始まりますが、やはり自分に打ち勝つことを心掛けて、自分の満足できる競技をしたいと思っています。(国体は岐阜県で開催され、弓道は10月6日～9日の予定です)



◀弓を引き分ける西脇君



元気なまちかど

女子プロゴルフメジャー トーナメント、市内で開催

日本女子プロゴルフ選手権大会が9月6日から9日までの4日間、信楽町のタラオカントリウムクラブで開催されました。この大会は、「国内メジャートーナメント」と呼ばれる最も権威ある4つの大会の1つで、期間中、一流プロのプレーを間近に見ようと多くの観客で賑わいました。

途中、雷雨に見舞われるなど難しいコンディションのなか、有村智恵選手が自身初めてのメジャー大会を制しました。開催地である当市からも優勝の副賞として「信楽焼ききふくろ」の空気清浄器と「信楽焼き茶器と朝宮茶のセット」が中嶋市長から有村選手に贈られました。



▲有村選手に記念品を贈る中嶋市長

成人の日から半世紀 古希につどった同窓たち

「いつか成人のつどい」が9月1日、あいこうか市民ホールで開催され、多くの参加者でにぎわいました。

このつどいは、市が今年から新たにスタートさせたもので、70歳を迎えた皆さんを中心にお互いが再会を喜び合い、また、新たな出会いのきっかけづくりの場になることを願って実施するものです。

年齢を重ねても健康で生きがいを感じながら毎日を送ることは、人生をより充実させるうえで大切なことです。市では、「成人式から半世紀を経た「成人のつどい」を記念の年中行事として続けていきたいと考えています。



▲多くのご来場ありがとうございました

子どもたちにお菓子で 笑顔を届ける活動

子どもたちに心のこもった手づくりお菓子を食べてもらおうと水口小学校の児童のお母さんが9月5日、同校家庭科室に集まりました。参加したのは、オリジナルのお菓子を作り、それを子どもたちに届けるボランティア活動をされる皆さんです。

今回、試作されたお菓子の名前は「ぱりんとう」。ごまを練り込み、卵や小麦粉で作る素朴な味の揚げ菓子で、調理法の確認などを念入りに行いました。また、卵や小麦のアレルギーを持つ子どもたちにも安心して食べてもらえる工夫や、アイデアを話し合っていました。参加したお母さんの一人は「素朴な味のお菓子ですが、今の子どもたちには新鮮で懐かしい味がするのでは」と、子どもたちのよるこぶ姿を思い浮かべながら手際よく仕上げていました。



▶「ぱりんとう」を揚げるお母さんたち▶

J2リーグ昇格を目指して

水口スポーツの森陸上競技場内サッカーグラウンドで、日本フットボールリーグ(JFL)の公式戦が9月16日、行われました。



▲熱戦を繰り広げる両チームの選手

この日は、900人近いファンがサッカー観戦に訪れ、その歓声を背に、MIOびわこ滋賀が1対0で勝利しました。観戦に訪れた親子連れは「水口でプロサッカーの試合が観戦できて、子ども私も感動しています。」と話されました。

夏の風物詩を 信楽焼が演出

陶芸の森信楽産業展示館で恒例の「いまだき、しがらき、かやりき展'12」が、8月4日から9月23日までの間、同館で開催されました。

夏の夕べ、涼風を楽しむのに欠かせない蚊取り線香ですが、蚊遣り器も風情を醸し出す必需品です。期間中、会場には昔ながらのブタを形どったものや斬新なデザインのものまで、さまざまな種類の蚊遣り器が並べられました。

京都から訪れた来場者は「この展示は夏の風物詩として毎年楽しみにしています。」と、一つひとつの作品を眺め、買い求めていました。



▲展示された作品の一部

こうか
まちかど特派員



おくむら
奥邨 和子



こうか まちかど 特派員 のページ

練習会場では、皆さん笑顔でとても和やかな雰囲気の中、所狭しと楽器が置かれ、リーダーの大原さんの指導で練習されていました。このグループの魅力について伺うと、「ひとたび集えばにぎやかな笑い声が絶えず、仲の良さが演奏に表れます」とリードギターの大原さん。「出来るだけ多くの人に聞いていただきたい。人前で演奏することが上



演奏の様子

達だの道です」ドラムの船渡さん。今では、このボランティア活動も年間20件ほど依頼がくるようになり、お客さんに喜んでいただけるのが楽しみとのこと。衣装は土山をイメージしたグリーンのブレザーと白のパンツです。演奏を始め、お客さんの反応を見ていると、一緒に歌ったり、体リズムを取ったりして楽しんでいただいているのを実感されるそうです。レパートリーも日に日に増え、メンバーだけが歌うのではなくお客さんにも歌っていただくようにしているそうです。お客さんとお客さんとの一体感を感じることがより楽しんでいただけのように感じると、大原さんは力強く語っておられました。



練習の風景

しかし、大変な事もあります。楽譜が高額なため何曲も購入できず自作しなければならぬ時です。この場合はまず力

また、会場までの道のり、特に会場が2階の場合、楽器の運搬がつかい時もありますが、メンバーで助け合いながらセッティングしていきます。

- メンバー紹介(順不同)
- リーダー
大原 利男さん(リードギター)
 - 加藤とし子さん(鉄琴)
 - 木田 艶子さん(キーボード)
 - 永来多津子さん(木琴)
 - 船渡 芳和さん(ドラム)
 - 若菜 利美さん(アコーディオン)
 - 白川 光雄さん(ベースギター)
 - 森本 和世さん(フルート)
 - 筒井 文子さん(キーボード)
 - 堀田 三郎さん(打楽器)
 - 堀田 文雄さん(ハーモニカ)

平均年齢76歳の男女11名で編成された、音楽で心と体を活性化させるような活動されているグループを紹介いたします。その名は『あいの土山ナツメロ楽団』。この楽団は、昭和49年(1974年)に楽器や音楽をこよなく愛する者が集い結成されたグループで、今では福祉施設、敬老会、老人会等でボランティアの演奏活動をされています。

音楽と楽器で元氣全開



セットテープを聞き、主旋律に楽器を合わせて音符を書き出し、数字を当てはめて数字譜に仕上げていきます。この作業を終えるのにおよそ3日、それから練習を重ね、色をつけて1曲を仕上げるのに約1ヶ月はかかります。

いつも開放していますので、音楽の好きな方はいつでも参加してくださいとの事です。それぞれが違う個性を持ち、年齢は違っても、音楽と楽器でつながるメンバーは1人ひとりすばらしく輝いています。



「あいの土山ナツメロ楽団」のみなさん

紅葉萌ゆる伊賀の秋 伊賀市

～伊賀市の秋まつり～



- ◎10月27日(土) ふれあいフェスタin青山(午前10時～午後3時)
【問い合わせ】青山ハーモニーフォレスト伊賀市種生3137-1 青山支所振興課 ☎52・1114 ☎52・2174
 - ◎11月3日(土祝) けんすいまつり2012(午前10時～午後3時)
【問い合わせ】阿山B&G海洋センター駐車場伊賀市川合30376-1 けんすいまつり実行委員会 ☎43・1544 ☎43・1679
 - 滝山渓谷紅葉まつり(午前10時30分～午後2時30分)
【問い合わせ】白旗滝周辺 ※荒天時は山畑農事集会所 ※会場には駐車場がないため、山畑農事集会所からシャトルバスを運行します。
【問い合わせ】伊賀支所振興課 ☎45・9119 ☎45・9120
 - ◎11月4日(日) 大山田収穫まつり2012(午前9時30分～午後3時)
【問い合わせ】大山田B&G海洋センター駐車場伊賀市平田30154 大山田収穫まつり実行委員会事務局 ☎47・0928 大山田支所振興課 ☎47・1157 ☎46・1764
- ※滝山渓谷紅葉まつり以外は雨天決行 荒天中止です。

亀山公園 亀山市

～秋のおでかけスポット～



市街地に接する亀山公園は、亀山城跡や菖蒲園、ますみ児童公園、北公園などがあり、緑に包まれた総面積13.2haの総合公園です。また、北公園のわんぱく広場にはローラー滑り台があり、全長73m、高低差12mで迫力満点。そのほかアスレチックなどたっぷり遊べる遊具もいっぱいあります。これから秋の行楽シーズン。亀山公園で心と体をリフレッシュしませんか。

【アクセス】東名阪自動車道「亀山IC」より亀山方面へ約10分

【問い合わせ】(財)亀山市地域社会振興会 ☎0595-82-7111

- 甲賀市広報課 ☎65-0675 ☎63-4619
- 伊賀市秘書広報課 ☎0595-22-9636 ☎0595-22-9617
- 亀山市広報秘書室 ☎0595-84-5022 ☎0595-82-9685

文化協会文化祭のご案内

さまざまな力作の展示や、芸能発表など、日頃の活動の成果を発表される各地域の文化祭。皆様お誘い合わせの上、ぜひお越しください。

名称	開催日	会場	内容
水口町文化協会'12文化祭	10月20日(土)、21日(日)	碧水ホール あいこうか市民ホール展示室	芸能発表 作品展示
第46回甲南文化祭	11月11日(日) 11月8日(木)～11日(日)	忍の里プララ	芸能発表 作品展示
第43回信楽芸術祭	11月3日(土) 11月2日(金)～4日(日)	陶芸の森 信楽ホール 信楽体育館	芸能発表 作品展示
第57回甲賀町文化祭	11月4日(日) 11月3日(土)、4日(日)	甲賀農村環境改善センター 甲賀中央公園体育館他	芸能発表 作品展示
第9回あいの土山文化祭	11月11日(日) 11月10日(土)、11日(日)	あいの土山文化ホール 森林文化ホール、あいの土山文化ホール他	芸能発表 作品展示

甲賀市文化協会連合会事務局、文化スポーツ振興課 文化振興係 あいこうか市民ホール内 ☎62・2626

第31回文化書道展 10月6日(土)、7日(日) あいこうか市民ホール ●問い合わせ 田中書道院 ☎62-1921



催し

碧水荘文化祭

- 日時／10月20日(土)～21日(日) 9時30～16時(最終日は15時まで)
 - 場所／水口社会福祉センター ホール
 - 内容／作品展示(陶芸、盆栽、表装、絵手紙、デジカメ写真、書道) コーラスやハンドベル演奏、レクダンスの発表など
 - その他／苔玉づくり、絵付け体験、将棋対局の体験、お茶席もあります。
- 問／老人福祉センター 碧水荘
☎ 62-6080 / ☎ 62-6096

連続講座 [しがらき健康塾]

- メタボリックシンドロームについての講座を開催します。
- 日時／10月17日(水)14時～15時30分
 - 場所／信楽保健センター 1階
 - 内容／講座、頸動脈エコー、血糖測定、健康食品の試食など
 - 時間／10時～17時
 - 講師／病院スタッフ 他
 - 定員／約20名
 - 参加費／初回の方のみテキスト代300円
- 問・申／信楽中央病院
☎ 82-0249 / ☎ 82-3060

秋季企画展
「甲賀の里に不学の人なからしめよ ～市内学校の移り変わり～」

- 明治時代から現在にかけて使われている教科書や学校用具を展示します。
- 期間／10月6日(土)～12月9日(日)
 - 場所／甲南ふれあいの館展示室
 - 入館料／無料
- 問／歴史文化財課
☎ 86-8026 / ☎ 86-8216

第17回
京都大学・京都女子大学
オリエンテーリング大会

- 社団法人日本オリエンテーリング協会公認大会(カテゴリーB)が甲賀市で開催されます。
- 今回は、初めてオリエンテーリング

を体験してみようと思われる方のために、甲賀市民クラスという部門も設けられましたので、身近で行なわれる大会に参加してみたい方はいかがですか。

- 開催日／10月21日(日)
 - 開催場所／甲賀市土山町 山内地域
 - 会場／ふるさと生きがいセンター 六友館山内小学校
 - 参加資格／市内に在住、通勤または通学している方。ただし、小・中学生は除きます。
 - その他／申込み方法や大会に関する最新情報は随時更新されるホームページ『第17回京大・京女オリエンテーリング大会』でご確認ください。
- 問／文化スポーツ振興課
☎ 86-8023 / ☎ 86-8380

2012あいの土山マラソン
11月4日開催

- 日程／11月4日(日)雨天決行
 - スタート／マラソン女子 10時25分、マラソン男子 10時30分、ハーフマラソン女子 10時35分、ハーフマラソン男子 10時40分、
- 問／甲賀市土山体育館内大会事務局
☎ 66-0091
文化スポーツ振興課
☎ 86-8023 / ☎ 86-8380

募集



「花野果」園芸講座
受講者募集

- 新たに野菜販売を開始していただく方を対象とし、園芸講座を開催します。
- 日時・内容・場所／
・10月25日(木)13時30分～16時：栽培ほ場見学(直売所出荷者の体験談):JAこうか本所玄関前集合の後、現地にて開催
 - ・11月23日(金・祝)12時～16時：研修会(野菜の基礎知識等):碧水ホール及び周辺ほ場
 - ・12月5日(水)個別相談会(営農計画書の作成と技術的相談):甲賀地域農業センター
- 申込締切／10月19日(金)
 - 受講料／無料
 - 定員／20名(定員になり次第締切)
- 問・申／農業振興課

☎ 65-0712 / ☎ 63-4592
JA こうか営農指導課
☎ 62-0588 / ☎ 62-9878

男女共同参画標語募集

- 募集内容／「災害と男女共同参画」をテーマとする標語(一人3作品まで)
- 応募資格／市内に在住・在勤・在学の方
- 応募期間／10月1日(月)～11月9日(金)
- 応募方法／住所、氏名、年齢、性別、電話番号、保護者氏名(中学生以下)、作品で表現したことを記入し、人権推進課へ持参または郵送。
- 審査／男女共同参画社会づくりフォーラム実行委員会が行い、最優秀作品2点(賞状と図書券3,000円分)と優秀作品数点(賞状と図書券1,000円分)を選定します。
- その他／入賞作品は、啓発に使用します。この際、氏名と住所(字まで)を掲出します。

※10月14日～21日は男女共同参画社会をめざす「パートナーしがの強調週間」です。

問／人権推進課
☎ 65-0695 / ☎ 63-4582

シルバー連合会 再就職・就業支援
シニア対象オフィスクリーニング技能講習

- 日程／10月30日(火)～11月8日(木)土日除く
 - 会場／滋賀ビル(大津市梅林1-3-10)10時～16時
 - 定員／20名
 - 受講料／無料
 - 対象者／55歳以上の県内在住者で講習に係る就業を希望しハローワークで求職登録をされている方
 - 申込締切／10月18日(木)必着 ※申込受付後、面接により選考
 - 受講者選考面接日程／10月22日(月)10時～ 連合会事務所にて
- 問・申／公益社団法人 滋賀県シルバー人材センター連合会
〒520-0054 大津市逢坂1丁目1番1号
☎ 077-525-4128
☎ 077-527-9490

福祉の職場説明会

福祉の仕事に興味がある、また働いてみたいといった方々へ福祉の職場ガイダンス、説明会を開催します。甲賀・湖南市内の様々な施設・事業所が集まり、仕事や職場のことについて話を聞いて頂けます。

- 日時・場所／
・10月27日(土)13時～16時 サンライフ甲西
 - ・2月3日(日)13時～16時 水口社会福祉センター 1階ホール
- 問／社会福祉課 福祉政策係
☎ 65-0700 / ☎ 63-4085

連続講座「あいこうか歴史塾」

- 日時／第7回:10月13日(土)13時30分～15時
 - 場所／水口図書館2階資料室
 - 講師／高島幸次氏(大阪大学招聘教授)
 - 演題／「町人と百姓」
 - 受講料／300円
 - 定員／80名(申込不要)
- 問／歴史文化財課市史編さん室
☎ 86-8075 / ☎ 86-8216

サントピア水口 勤労青少年ホーム 秋の短期教室
受講生募集

- ◎お正月に着物を着よう！
着物の着付け教室
- 日時／11月1日(木)～12月6日(木)全6回 19時～21時
- 定員／10名
- 受講費／3,600円
- ◎秋のフラワーアレンジメント教室
- 日時／11月12日(月)、11月26日(月)全2回 19時30分～21時30分
- 定員／8名
- 受講費／3,800円
- ◎スクラップブック教室
- 日時／11月30日(金)、12月14日(金)全2回 19時30分～21時30分
- 定員／8名
- 受講費／2,300円
- 申込期間／10月11日(木)～10月25日(木)(土日は除く。受付時間は9時～21時)

- 申込場所／サントピア水口 勤労青少年ホーム窓口(電話、代理での申し込みは不可)
 - 対象／平成24年4月1日現在で15歳以上35歳以下の方(中高校生は除く)申し込みに必要なもの等、詳しくは下記まで。
- 問・申／勤労青少年ホーム
☎ 63-2952 / ☎ 63-6788

ふれあい親子陶芸教室

- 日時／10月20日(土)10時～12時
 - 場所／甲南ふれあいの館
 - 定員／25名(先着順)
 - 受講料(材料費を含む)／大人・中学生 500円 小学生以下 400円
- 申・問／甲南ふれあいの館
☎ / ☎ 86-7551
(10時～17時・月火休館)

第9回 ふるさとの歴史を語る文化講演会

- 講演名称／大仏造立と紫香楽宮ー紫香楽宮と甲賀宮ー
 - 日時／10月28日(日)13時30分～15時30分(開場13時)
 - 場所／黄瀬交流館「さらら」ホール
 - 定員／100名
 - 講師／小笠原好彦(滋賀大学名誉教授)
 - 受講料／無料
- 問／歴史文化財課
☎ 86-8026 / ☎ 86-8216

くらしとまちづくり講座
「デコ・クレイクラフト教室」
受講生募集

- 焼かない粘土を使って、花や雑貨、小物をデザインする新しいクラフトに挑戦してみませんか?今回は、クリスマス用オーナメントリボンを作ります。
- 日時／11月23日(金)・30日(金)・12月7日(金)19時30分～21時00分まで
 - 場所／甲南公民館(忍の里プララ)
 - 講師／デコ・クレイクラフトアカデミー師範 山本弘美さん
 - 対象／甲賀市に在住または在勤の18歳以上の方
 - 定員／15名(先着順)
 - 受講料／3,000円

- 申込方法／チラシ裏面の申込用紙に必要事項を記入の上、受講料を添えて甲南公民館へご提出ください。
 - チラシ設置場所／各中央公民館・甲南地域の各地域市民センター・社会教育課
 - 申込期間／10月5日(金)～11月2日(金)まで※定員になり次第締切
- 問／甲南公民館
☎ 86-3036 / ☎ 86-8119

☆夜空旅人(天体観望会)☆
「カシオペア座から北極星を探そう」

- 日時／10月13日(土)19時30分～21時30分
 - 場所／かふか生涯学習館
 - 内容／天体のお話、海王星、天王星、秋の星座などの観望
 - 申込方法／電話にて下記まで
 - 申込締切／10月12日(金)先着20名
- ※天候・人数等により中止する場合があります。
- 問・申／かふか生涯学習館
☎ 88-4100 / ☎ 88-5055

市営駐車場の利用者募集

- 受付期間／10月1日(月)～15日(月)(土・日を除く9時～17時)
- 使用開始日／11月1日(木)(甲賀駅南駐車場)3,000円/月 10区画(うち軽自動車4区画)(甲南駅前自動車駐車場)5区画(うち2区画は身体障がい者用) ※申し込みの際は事前にお問い合わせください。(申込者多数の場合は抽選となります。)
- 問・申／生活環境課
☎ 65-0686 / ☎ 63-4582
(油日駅前駐車場)3,000円/月(直接お問い合わせください)
- 問・申／油日駅を守る会
☎ 88-5879
(甲南駅前駐輪場)自転車1,500円/月 原付1,800円/月(直接お問い合わせください)
- 問・申／甲南駅前駐輪場
☎ 86-0590
(受付時間/6時15分～9時15分、13時～14時、18時30分～20時30分)



お知らせ



甲南図書交流館
雑誌のリサイクル

保存期間の過ぎた雑誌などをお譲りします。

●日時／10月6日(土)～21日(日)
10時～18時(金曜日は21時まで)

※休館日(毎週月・火曜日)は除く

●場所／甲南図書交流館 夢工房

※お気に入りのものを自由にお持ち帰りいただけます。

※予約や置き置きはできません。

問／甲南図書交流館

☎ 86-1504 / FAX86-1505

10月は「骨髄バンク
推進月間」です

一人でも多くの方に骨髄移植のチャンスを提供するため、みなさまのご理解とご協力をお願いします。

〈骨髄バンク登録受付〉

●場所／滋賀県甲賀健康福祉事務所(甲賀保健所)

●日時／毎月第3火曜日 午前9時15分～10時30分

※予約制です。

●予約先／滋賀県甲賀健康福祉事務所健康衛生課健康づくり担当

☎63-6147 / ☎63-6142

問／健康推進課 健康政策係

☎ 65-0703 / ☎ 63-4591

乳がんを予防しましょう
10月は乳がん撲滅月間です

乳がんはがんの中でも、自分で早期発見が可能ながんです。

早期発見すれば治癒率も高いので、定期的な自己検診を心がけましょう。

市では今年度、助成対象のがん検診として、乳がん検診と子宮頸がん検診を実施しています。

子宮頸がん検診は20歳以上(平成5年3月31日以前生)乳がん検診は40歳以上(昭和48年4月1日以前生)の方に、2年に1度無料で実施しています。

市指定医療機関で実施していますので、詳しくは健診(検診)カレンダーをご参照ください。

問／健康推進課 健康増進係

☎ 65-0737 / ☎ 63-4591

「秋の山野草展」開催

●日時／

1日目：10月20日(土)9時～17時

2日目：10月21日(日)9時～16時

●会場／鹿深ホール(水口中央公民館内)

問／滋賀山草会 事務局

☎ / ☎ 0748-75-0377



催し



男女共同参画社会づくり
フォーラム

(人権教育連続セミナー第10回)

●日時／10月27日(土)13時30分～15時40分(受付13時～)

●場所／水口社会福祉センター

●内容／講演『被災地における女性の人権』～阪神淡路大震災の教訓は活かされたのか?～

講師：正井礼子さん

NPO法人女性と子ども支援センター

ウィメンズネット・こうべ代表理事

●入場／無料

託児あり(未就学児)※先着10名(要予約15日まで)。手話通訳あり。

問／人権推進課

☎ 65-0695 / ☎ 63-4582

1 日年金相談所(下半期)

●開設日／10月11日(木)、11月8日(木)、12月13日(木)、1月10日(木)、2月14日(木)、3月14日(木)

●場所／水口社会福祉センター 2階 中会議室

※予約制ですので、事前に草津年金事務所へ申し込みをお願いします。予約後、受付票(ハガキ)が送付されますので日時、持ち物等ご確認ください。

問／草津年金事務所

☎ 077-567-1383 (予約専用)

☎ 077-567-1311 (お客様相談室)

☎ 077-562-9638 (予約専用 FAX)

保険年金課

☎ 65-0688 / ☎ 63-4618

(市役所での予約受付は行っていません)

水口スポーツの森へ行こう ●10月の催し



甲賀市民スタジアム

6日(土)・7日(日)	関西秋季大会 滋賀県支部予選(中学生軟式)
13日(土)・14日(日)	第7回NOSA Iカップ学童野球大会(小学生軟式)
19日(金)	秋季総合体育大会第4ブロック大会(中学生軟式)
21日(日)	甲賀地区軟式野球大会(一般軟式野球)
26日(金)・27日(土)	第30回JABACびわこ杯争奪社会人クラブ野球大会(一般硬式)
28日(日)	甲賀市軟式野球リーグ戦 決勝トーナメント(一般軟式)

多目的グラウンド

2日(火)	第16回水口かんぴょうの里杯親善ゲートボール大会(一般ゲートボール)
6日(土)	滋賀県2種リーグ順位決定戦(高校生サッカー)
7日(日)	市長杯争奪グラウンドゴルフ大会(一般グラウンドゴルフ)
8日(月)	甲賀市スポーツ少年団サッカー大会(小学生サッカー)
10日(水)	いきいきクラブ グラウンドゴルフ大会(一般グラウンドゴルフ)
19日(金)	滋賀県中学校秋季総合体育大会第4ブロック大会(中学生サッカー)
20日(土)	第4ブロック中体連強化練習会(中学生サッカー)
21日(日)	滋賀県シニアサッカーリーグ(一般サッカー)
27日(土)	3種トップリーグ(中学生サッカー)
28日(日)	秋季高校総体サッカー競技(高校生サッカー)

陸上競技場

3日(水)	甲賀市小学校陸上記録会(小学生陸上)
6日(土)	第4ブロック陸上競技大会(中学生陸上)
7日(日)	第18回滋賀県マスターズ陸上競技選手権大会(一般陸上)
13日(土)	第9回甲賀市民体育大会・1部(小学生・マスターズ陸上)
20日(土)	甲賀市陸協・マスターズ交流練習会(一般陸上)
21日(日)	第9回甲賀市民体育大会・2部(中学・高校生・一般陸上)
27日(土)	県協会甲賀地区ふれあい交流グラウンド・ゴルフ大会(一般グラウンド・ゴルフ)
28日(日)	県シニアサッカーリーグ(シニアサッカー)

10月 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水

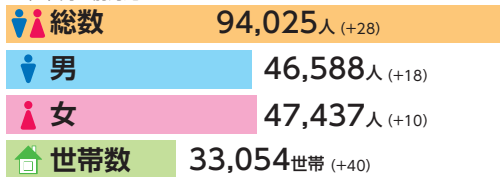
甲賀市市民憲章

わたしたちは「みんながつくる住みよきと活気あふれる甲賀市」を目標として、この憲章を定めます。

あふれる愛に
あなたも仲間
いろいろ山河と
生きいき文化
こぼれる笑顔に
たえる安心
うみだす活力
受けつぐ伝統
かがやく未来に
鹿深の夢を

甲賀市の人口の推移

※()内は前月比 H24. 8. 31現在



編集・発行

甲賀市役所

〒528-8502 甲賀市水口町水口6053番地
☎0748-65-0650 ☎0748-63-4554

甲南庁舎

甲賀市甲南町野田810番地
【上下水道部】
☎0748-86-8000 ☎0748-86-8032
【教育委員会】
☎0748-86-8002 ☎0748-86-8380

市民窓口センター

甲賀市水口町水口6053番地
☎0748-62-1621 ☎0748-63-4086

土山地域市民センター

甲賀市土山町北土山1715番地
☎0748-66-1101 ☎0748-66-1564

甲賀大原地域市民センター

甲賀市甲賀町相模173番地1
☎0748-88-4101 ☎0748-88-3104

甲南第一地域市民センター

甲賀市甲南町野田810番地
☎0748-86-4161 ☎0748-86-8029

信楽地域市民センター

甲賀市信楽町長野1203番地
☎0748-82-1121 ☎0748-82-3415

※上記4つの地域市民センターは、旧支所の地域市民センターで、従来の支所機能を有します。

「広報あいこうか」がホームページでもご覧いただけます！

甲賀市ホームページ

<http://www.city.koka.lg.jp/>

「広報あいこうか」の名称は市民憲章のそれぞれの頭文字を並べてできる「あい こうか」から名付けています。市民憲章とともに皆さんに親しまれる広報紙をめざします。



この印刷物は、有害な廃液を排出しない水なし印刷を採用しています。また、大豆油インキを含まない植物油インキと適切に管理された森林の木材を利用した FSC 認証紙を使用しています。

こうかギャラリー

このコーナーでは市内の保育園、幼稚園、小中学校の児童・生徒が描いた絵を順次紹介していきます。



楽しい ゆうらんバス

山内小学校 5年
おかだ かれん
岡田 夏蓮さん

フェナキストスコープ 「はみがき星人」

城山中学校 2年
おくむら あかり
奥村 朱璃さん



うれしい わたし

大野保育園 5歳
まえだ りお
前田 理緒さん

編集後記

今年も米の収穫の季節を迎えましたが、例年と比べて良い米が多く、豊作だそうです。都市農村交流事業のインタビューに応じた木下さんが、笑顔で話してくれました。

今回の受け入れを通して、農業を知らない都市の若者と農作業で交流できたことが刺激になり、自分の仕事へのモチベーションが以前よりも向上したようで、私にも農業の良さや熱い想いを語っていただきました。

私も甲賀市の良さを伝える市の広報担当として、木下さんが農業を語るように情熱を持って甲賀市の素晴らしさを市内外の皆さんに発信していきたいと思います。